

平成25年度決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

教育委員会

目 次

| | | |
|-----|-----------------------|----|
| I | 平成25年度教育委員会主要施策の成果の概要 | 1 |
| II | 主要事業の内容及び成果 | 7 |
| III | 歳入歳出決算額 | 17 |
| 1 | 一般会計決算額 | 17 |
| (1) | 歳入決算額 | 17 |
| (2) | 歳出決算額 | 18 |
| 2 | 特別会計決算額 | 19 |
| (1) | 歳入決算額 | 19 |
| (2) | 歳出決算額 | 19 |

I 平成25年度教育委員会主要施策の成果の概要

1 新たな価値を創り出し、未来へ飛躍する人を育てる教育の実現

(教職員課，学校政策課，体育学校安全課，教育文化政策課，文化の森振興本部)

(1) キャリア教育の推進

発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を実施するとともに，体験的な活動を充実させることにより，児童生徒の社会的・職業的自立のために必要な能力や態度を育成した。

また，「産学官連携による産業教育推進事業」では，専門高校における実学に則した産業教育の取組を推進するため，産学官との連携を強化するとともに，その成果を発表会への参加を通じて広く県民に発信した。

(2) グローバル化に対応した教育の推進

児童生徒にグローバル社会における英語の必要性について理解を促し，外国語（英語）学習のモチベーションの向上を図りつつ，外国語（英語）を使う機会の拡大をめざした。

「グローバルチャレンジ支援事業」では，海外語学研修等を支援し，小中高を通じて体験的に語学力・コミュニケーション能力の向上を図るための取組を行った。

(3) ICT活用能力の育成

これからの時代を担う児童生徒に必要な不可欠な力である，必要な情報を主体的に収集・判断・処理等し，発信・伝達等ができるICT活用能力の育成に向けた取組の一層の充実を図った。

(4) スポーツ文化の創造

競技人口の拡大や重点的・集中的な強化策の視点も踏まえ，関係機関との連携を図り各種事業を効果的に進めた。

また，「鳴門スポーツゾーン推進事業」では，大学や各種団体等と連携し，スポーツ科学機器を活用した科学サポートや講習会等を実施し，鳴門渦潮高校を中心としたスポーツゾーンの機能を充実させた。

(5) 伝統文化の継承と文化芸術の創造

「ふるさと発見！あわっ子文化大使育成プロジェクト」では、あわ文化を次世代に伝承する制度を構築するため、ポスト国文祭の取組の1つとして、体系的な文化教育に取り組み、様々な文化活動の場や将来国際社会で活躍できる「あわっ子文化大使」を育成した。

また、文化の森総合公園各館において、資料の継続的な収集に努めるとともに、魅力的な展示や体験学習等の実践を通して、伝統文化の継承と文化芸術の創造につなげた。

2 知・徳・体の調和がとれ、社会を生き抜く力を育てる教育の実現

(学校政策課，特別支援教育課，人権教育課，体育学校安全課，教育文化政策課)

(1) 確かな学力の育成

「基礎的・基本的な知識・技能」に加え、それらを活用して課題を解決するために必要な「思考力・判断力・表現力等」，さらには「主体的に学習に取り組む態度」を「学力」の重要な3要素ととらえ、その育成を図るため、「あわっ子学力ステップアップ支援事業」等を実施し、「確かな学力」を育成した。

(2) 豊かな心の育成

家庭や地域と連携を図り、規範意識を育成し、いじめや暴力行為を許さず、生命を大切にできる心や思いやりのある心、豊かな感性を育む道徳教育の充実を図った。

また、「いじめ等問題行動の予防に関する実践研究指定事業」では、児童生徒の対人関係能力の向上や、自尊感情及び他者を思いやる心等を育成するため、いじめ等の問題行動や自殺につながるおそれのある心身の病気等に対する「徳島版予防教育」の確立を図った。

(3) 健やかに生きる力の育成

学校体育の充実を図り、子どもたちが自分にあった運動を継続して、運動習慣の確立を図った。

また、学校における食育，健康教育を推進し，運動習慣の確立と望ましい生活習慣の形成を図り，生涯にわたって健康な生活を送れる力を育成した。

(4) 個性がひらく特別支援教育の推進

特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒に対して，幼児期から就労期まで一貫した指導・支援が行えるよう，一人一人の自立と社会参加を見据えた取組を推進した。

また、「発達障がい「まなびのわ」充実事業」では、みなと高等学園を核として、研究機関と連携し成長に合わせた最も適切な指導方法等の開発による学習支援、ジョブサポーターによる職場開拓やICTの活用による就労支援を行い、その成果を全国に発信した。

(5) 行動につながる人権教育の推進

すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、「徳島県人権教育推進方針」に基づき、学校の教育活動全体を通じて人権教育を推進した。

また、人権教育の指導内容や指導方法等の研究・実践を進め、幼児児童生徒の知識・理解を深め、確かな人権感覚を育て、実践力を養うとともに、教員の指導力の向上と資質の向上を図った。

(6) 豊かな感性を育む芸術文化活動の推進

様々な学習機会を活用し、芸術文化に関する体験学習や優れた芸術文化の鑑賞機会の充実を図ることにより、児童生徒が豊かな感性や情操、創造性、コミュニケーション能力などを養うことができるように取り組んだ。

3 人権を尊重し、社会全体で取り組む教育の実現（教職員課、学校政策課、人権教育課、生涯学習政策課）

(1) 学校・家庭・地域の連携の推進

県民の教育に対する理解を深めるとともに、子どもたちの基本的な生活習慣の形成支援、地域住民の参画による放課後や休日における安全安心な居場所づくりである「放課後子ども教室推進事業」の実施をとおして、学校・家庭・地域が一体となった教育体制づくりを進めた。

また、家庭教育の学習機会の提供、家庭教育支援者の養成等を目的とした「ほのぼの家庭教育づくりプログラム事業」を実施するなど、家庭・地域の教育力向上をめざした取組を推進した。

(2) とくしまの教育力の活用

地域住民の教育支援活動への参画をとおして、地域ぐるみで子どもたちを育てる気運の醸成を進めた。

学校支援地域本部の設置による学校支援ボランティアの組織化を図る「地域ぐるみの学校支援事業」などの取組の充実に努めた。

(3) 幼児期の成長を支える取組の推進

幼稚園と保育所、認定こども園、小学校との連携・接続を強化し、発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を推進するとともに、家庭、地域社会の教育力を生かしたネットワークを構築することにより、幼児の日々の生活の連続性を踏まえた幼児教育の充実に取り組んだ。

(4) 社会教育における人権教育の充実

・ 幼児期から高齢期に至るそれぞれのライフステージに対応した交流活動や研修会、研究大会等の人権に関する多様な学習活動を展開していくことを通じて、同和問題をはじめ様々な人権問題について理解を図るとともに、人権尊重の意識の高揚に努めた。

(5) 地域の教育に貢献する人材の育成

地域の絆を強め、地域の教育力を高めるため、人権教育や防災・減災をはじめとした地域の課題解決に取り組む人材の育成を進めた。

4 夢と希望に向かって学び続ける教育の実現（学校政策課、生涯学習政策課、教育文化政策課、文化の森振興本部）

(1) 多様なニーズに対応した学習機会の提供

・ 県民の学習意欲を高めるとともに、県民に満足を与える学習機会を提供するため、質の高い生涯学習情報を提供する体制づくりを進めた。

また、日本語指導が必要な児童生徒を支援するためのネットワークを作り、帰国・外国人児童生徒が、早期に効果的な日本語教育が受けられ、生き生きと学校生活を過ごすことができるようにした。

(2) 学びの環境の充実

生涯にわたって学び続けることができる生涯学習社会の実現をめざすための取組を、文化の森総合公園各館をはじめ生涯学習に関連する各施設において推進した。

文化の森総合公園各館においては、文化や芸術に直接ふれあう機会の充実を図り、子どもから高齢者、障がいのある方々まで幅広く多くの県民に足を運んでいただける新鮮で魅力ある事業を実施した。

(3) 郷土とくしまから学ぶ機会の充実

子どもたちが、郷土の自然や歴史・文化に対して理解を深めることができるよう、学校での授業・課外活動において、文化の森総合

公園各館が保有する資料の活用を図るとともに、学芸員等専門職員の講師派遣をより一層進めた。

(4) 文化遺産を活用した学びの場づくり

県内所在の文化財について基礎調査を行い、文化財の適切な保存・活用を図るとともに、文化財を単体ではなく、「群」として捉え、県民の参加を得ながら総合的に活用することにより、文化財を活かした地域づくりをめざす各地域の取組を支援した。

(5) 学び続ける場と機会の充実

生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現をめざし、これまでの学習成果を指導者や教育支援者としての活動につなげることにより、さらなる生涯学習意欲の増進を進めた。

5 安全・安心で魅力あふれる教育の実現

(教育総務課，施設整備課，教育戦略課，教職員課，福利厚生課，学校政策課，体育学校安全課)

(1) 安全・安心なとくしまの学校づくり

南海トラフの巨大地震等に備え、県立学校や市町村立学校の耐震化を推進し、児童生徒が、安全・安心に学ぶことのできる教育環境の実現に努めるとともに、県立学校については、中核的な避難所として機能するように、施設・設備の強化・充実を進めた。

また、「県立高校総合寄宿舍耐震化等推進事業」では、総合寄宿舍において巨大地震等に備えるため、耐震化を図るとともに、入寮生の住環境改善を実施するための耐震診断及び設計に着手した。

さらに、自然災害等の危険に際して自らの命を守り抜くため「主体的に行動する態度」の育成や、安全で安心な社会づくりへの貢献について、児童生徒の意識の向上を図るとともに、児童生徒一人一人が生き生きと活動でき、「心の居場所」となる魅力のある楽しい学校づくりを推進した。

(2) 社会の変化に対応した魅力ある学校づくり

少子化の進行など中長期的な課題への対応や、県民にとって魅力のある教育活動を展開していくための高校再編を進めた。

また、「スーパーオンリーワンハイスクール事業」では、これまでの取組をさらに進め、「とくしまリーディングハイスクール」の育成を図るため、全国、そして世界をめざしながら、閉塞感を打開する高校独自の取組や研究を支援した。

(3) 希望に導く教職員の育成

優秀な人材の確保を図るとともに、教職生活全体を通じて学び続ける教員を支援するなど、教職員の資質能力向上に向けた仕組みづくりや研修の充実に努めた。

また、メンタルヘルス対策や健康管理対策等を行い、教職員が安心して教育活動に専念し、その能力を存分に発揮できるよう支援策を推進した。

(4) 教育機関の運営体制の充実

教職員の校務負担の軽減を図り、児童生徒と向き合う時間を増加させるために、ICTを活用した校務の情報化に取り組んだ。

また、徳島県教育振興計画の進捗状況について、点検・評価を実施し、県議会に報告するとともに、毎年度末に、次年度に向けた事業内容や達成目標等について検討を行い、計画の改善見直しを実施した。

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|--------------------------------|---------------------------------------|--|
| 1 新たな価値を創り出し、未来へ飛躍する人を育てる教育の実現 | 産学官連携による産業教育推進事業 | 専門高校における実学に則した産業教育の取組を推進するため、産学官との連携を強化するとともに、その成果を展示発表会への参加を通じて広く県民に発信した。 (1,722) |
| | 「徳島県学校改善支援プラン」推進事業（うち高校生インターンシップ推進事業） | 生徒が現実の社会に触れ、働くことや生きることの尊さを実感したり、学習と職業の関連性を理解し、進路について積極的に考え、将来、社会的・職業的自立ができるようにするため、インターンシップを体験したり先端的な知識や技術に触れる機会を設けた。 (250) |
| | グローバルチャレンジ支援事業 | グローバル化に対応した教育を推進し、未来へ飛躍する人材を育成するため、ALTを活用した外国語活動の充実や、海外語学研修を支援するなど、小中高を通じて体験的に語学力・コミュニケーション能力を育成するための取組を行った。 (7,900) |
| | 外国人英語指導助手配置事業 | 本県における英語教育の改善と充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流を通じて外国人との相互理解を深め、本県の国際化の促進に資するため、高等学校等に外国人英語指導助手を配置した。 (103,102) |
| | 学校を拠点とした地域国際理解教育推進事業 | 児童生徒の国際感覚の醸成や語学力向上を図るため、交流や国際教育旅行の受入を円滑に実施する体制を整備し、国際交流を活発に行った。 (3,311) |
| | 競技力向上スポーツ指定校ステップアップ事業 | 全国高等学校総合体育大会や国民体育大会等の全国大会で入賞できる競技力を高めるため、有力選手を特定の学校に集中させ、指導者を適正に配置し、遠征・合宿等の強化活動費の一部を助成した。 (13,300) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|---------------------------------|-----------------------------------|--|
| 1 新たな価値を創り出し、未来へ飛躍する人を育てる教育の実現 | 鳴門スポーツゾーン推進事業 | 鳴門渦潮高校を中心にスポーツゾーンとして機能充実させるため、大学や各種団体等と連携し、スポーツ科学機器を活用した科学サポートや講習会等を行うとともに、鳴門渦潮高校の専攻実技5種目の活動を支援した。 (5,235) |
| | 競技スポーツ重点強化対策事業 | 長期的な展望に基づいたジュニア層からの強化を図るため、小学校における競技会や調査研究等を行うとともに、中・高校における県外有力校との練習試合や強化合宿等を行った。 (3,900) |
| | 地域スポーツ人材の活用実践支援事業 | 中学校・高等学校において、運動部活動の充実や地域社会との連携を促進するため、運動部活動に専門性のある外部指導者を派遣するとともに、外部指導者の資質向上のための研修会を実施した。 (5,483) |
| | ふるさと発見！あわっ子文化大使育成プロジェクト | あわ文化を次世代に伝承する制度を構築するため、ポスト国文祭の取組の1つとして、体系的な文化教育に取り組み、様々な文化活動の場や将来国際社会で活躍できる「あわっ子文化大使」を育成した。 (2,730) |
| 2 知・徳・体の調和がとれ、社会を生き抜く力を育てる教育の実現 | あわっ子学力ステップアップ支援事業 | 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力など本県児童生徒の課題となっている学力を育成するため、徳島県学力ステップアップテストを実施するとともに、課題解決を支援する学習ガイドの制作・提供を行った。 (1,000) |
| | 「徳島県学校改善支援プラン」推進事業（うち高校生夢チャレンジ事業） | 生徒の探究心や学ぶ意欲、将来の進路を考える力等を養い、学力向上に対するモチベーションを高め進路実現へとつなげていくため、3つの指定校における研究実践や、すべての学校対象の国際科学オリンピック・科学の甲子園についての取組を行った。さらに、すべての高等学校で教育活動のレベルアップを図るため、その成果を県全体に普及させた。 (550) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|--|-------------------------|--|
| 2 知・徳・体の 調和がとれ、社 会を生きる力 を育てる教育の 実現 | いじめ等問題行動の予防に関する実践研究指定事業 | 児童生徒の対人関係能力の向上や、自尊感情及び他者を思いやる心等を育成するため、いじめ等の問題行動や自殺につながるおそれのある心身の病気等に対する「徳島版予防教育」を確立した。 (1, 687) |
| | 道徳教育総合支援事業 | 歴史や文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心を養うとともに、規範意識の醸成を図るため、「郷土の偉人」の生き方や功績を紹介する教材の効果的な活用について、調査・研究を行うとともに、指導の充実を図るため、研修を実施した。 また、道徳用教材を印刷・製本し、配付した。 (6, 638) |
| | いじめ・不登校等対策支援事業 | いじめ、不登校、暴力行為等生徒指導上の諸問題の未然防止、早期発見、早期解消を図るため、スクールカウンセラーを全公立小・中学校及び全県立高校・特別支援学校に配置及び派遣するなど、学校や家庭・地域において、児童生徒や保護者等に対する臨床心理士等による相談支援体制を整備した。 (1) スクールカウンセラー等活用事業 65, 289 (2) 児童生徒の心のサポート体制づくり推進事業 1, 816 計 (67, 105) |
| | いきいき児童生徒育成事業 | 本県の児童生徒が抱える生徒指導上の諸問題についての分析・検討を進めるため、「健全な成長をめざす生徒指導の在り方検討委員会」を設置し、有効な対策を講じるとともに、大学や関係機関ともさらに連携を図りながら、教職員の資質及び学校組織全体の指導力の向上、児童生徒及び保護者への支援を強化した。 また、教職員やスクールカウンセラーによる対応だけでは解決が困難な事案の解決を図るため、専門的知識を有する大学教授等で構成する支援チームを学校に派遣し、指導助言を行った。 (1, 327) |
| | 体力アップ！サンライズ事業 | 子どもの体力を向上させるため、専門的な指導員による体育科授業の支援を行うとともに、ICTによるランキングシステムの活用により運動習慣の確立を図るなど、地域、学校、家庭が連携した運動環境の整備を行った。 (464) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|---|--------------------------|---|
| 2 知・徳・体の 調和がとれ、社 会を生き抜く力 を育てる教育の 実現 | 子どもの体力・運動能力向上 対策事業 | 児童生徒の体力向上、生活習慣改善を推進するため、子どもの体力・運動 能力向上対策委員会で体力向上及び生活習慣の改善について検討を行い、効 果的なプログラムの作成及びその普及を行った。 (1,244) |
| | 子どもから発信！とくしまの 食育推進事業 | 子どもの望ましい食習慣の形成に向け「徳島ならではの」の食育を推進する ため、栄養教諭がコーディネーターとなり、学校・家庭・地域が連携・協力 して食に関する指導を実施するとともに、地場産物を活用した献立の開発等 学校給食の充実に取り組んだ。 (1,289) |
| | あわっ子生活習慣改善プラン 推進事業 | 肥満や糖尿病、う歯など子どもの健康課題を解決するため、医師、歯科医 師などの専門家を学校等に派遣し、教職員、保護者への講演や講話等を行っ た。 (612) |
| | 発達障がい「まなびのわ」充 実事業 | 発達障がいのある幼児児童生徒の社会的・職業的自立を図るため、みなと 高等学園を核として、学習支援については、研究機関と連携し成長に合わせ た最も適切な指導方法等の開発を行い、就労支援については、ジョブサポ ーターによる職場開拓やICTを活用した支援を行い、その成果を全国発信し た。 (1,425) |
| | とくしま特別支援トータルネ ットワーク事業 | 個々の発達に即した特別支援教育の充実を図るため、特別支援学校に在籍 する幼児児童生徒の障がいの重度・重複化に対応する研修や小・中・高等学 校への相談支援等を実施するとともに、発達障がい等のある幼児児童生徒の 社会的・職業的自立に向け、みなと高等学園を核とした全県支援ネットワ ークを構築した。 (7,027) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|---|----------------------|--|
| 2 知・徳・体の 調和がとれ、社 会を生き抜く力 を育てる教育の 実現 | とくしま・すだちサポート事業 | 各特別支援学校において、障がいのある生徒の就労を促進するため、労働・福祉・事業所等と連携し、雇用ニーズに対応した4分野（ビルメンテナンス、接客、ICT、介護）について特別支援学校版技能検定を行うなど、職業スキルの獲得に結びつく充実した指導を実施した。 (2,315) |
| | 「ともにまなぶ」高校生活応援事業 | 発達障がい等により特別な支援を必要とする生徒の学校生活の充実、学校不適応状態の予防改善及び校内支援体制の充実を図るため、支援対象生徒の在籍する県立高等学校に特別支援教育支援員(学習支援員)を配置した。 (707) |
| | 「徳島県人権教育推進方針」改定事業 | すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、現今の社会情勢や国の動向等に応じた学校教育及び社会教育における人権教育を推進するため、策定から10年目を迎える「徳島県人権教育推進方針」に一部内容を追記し、改定した。 (313) |
| | ありがとうを伝えたい「私からの手紙」事業 | 県民の人権意識の高揚を図るため、人権尊重の思いをありがとうの言葉に込め、手紙にしたものを募集した。5,857件の応募があり、優秀作品を表彰するとともに、人権教育・啓発の具体資料として活用した。 (993) |
| | 中・高生による人権交流事業 | 人権問題を解決する実践力を身につけた生徒を育てるため、県内の中学校・高等学校等の生徒の人権交流を実施した。 (1,500) |
| | 人権教育指導員委嘱事業 | 児童・生徒の人権意識の高揚と様々な人権問題の解決を図るため、人権教育指導員を選任し、県内すべての学校を対象に人権教育の指導を行った。 (1,628) |
| | 「“あわ” じんけん講座」事業 | 各学校における人権教育を充実・推進するため、教職員の人権意識の高揚を図り、人権及び人権問題に関する理解・認識を深め、指導力を高める講座を実施した。 (680) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-------------------------|-----------------------|---|
| 3 人権を尊重し、社会全体で取り組む教育の実現 | 放課後子ども教室推進事業 | 子どもの安全・安心な活動拠点（居場所）づくりを推進するため、地域住民の参画を得た学習やスポーツ、文化活動等の場の提供を支援した。 (28,985) |
| | ほのぼの家庭教育づくりプログラム事業 | 地域ぐるみで取り組む家庭教育支援を実現するため、家庭教育支援者の養成をはじめ、父親や次世代に親となる高校生を対象にした講座等を実施した。 (476) |
| | 人権教育研究推進事業 | 人権教育の一層の推進を図るため、学校、家庭、地域社会が一体となった教育上の総合的な研究や、学校における人権教育に関する指導方法の改善及び充実に資することを目的とした実践的な研究を実施した。 (2,800) |
| | 地域ぐるみの学校支援事業 | 地域全体で学校教育を支援する体制の構築を図るため、学校支援ボランティアやコーディネーター等による学校支援地域本部の活動を支援した。 (2,790) |
| | あわ”じんけん教育・啓発展開催事業 | 人権教育の更なる発展を図るため、平成25年11月に本県で開催された全国人権・同和教育研究大会の機会を捉えて、パネルや資料の展示等を行った。2日間で2,300人を超える来場者があり、徳島県の人権教育に関する取組等を広く全国に発信できた。 (1,090) |
| | 地域の絆ですすめる防災生涯学習プロジェクト | 学校・家庭・地域の連携を図り、学校を核とした地域の絆づくりや防災学習を推進するため、キーパーソンとなる「学校・家庭・地域の連携支援スペシャリスト」を養成した。 (237) |
| 4 夢と希望に向かって学び続ける教育の実現 | 帰国・外国人児童生徒“いきいき”モデル事業 | 日本語指導を必要とする帰国・外国人児童生徒に対して日本語講師を学校に派遣し、日本語学習の支援を行った。また、市民団体や大学等と連絡協議会を開催し、帰国・外国人児童生徒への効果的な支援の在り方等について協議を行い、支援体制の充実を図った。 (2,920) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---------|---------------------------|-----------|------------------------|---------|-------|-----------|-------|---------------|-------|------------|--|
| 4 夢と希望に向かって学び続ける教育の実現 | 文化の森各館企画展等開催費 | <p>本県文化を先導する拠点としての役割を果たし、文化活動の活性化を図るため、文化の森各館において企画展等を開催した。</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 博物館</td> <td>6,328</td> </tr> <tr> <td>(2) 近代美術館</td> <td>16,936</td> </tr> <tr> <td>(3) 文書館</td> <td>1,132</td> </tr> <tr> <td>(4) 21世紀館</td> <td>5,320</td> </tr> <tr> <td>(5) 鳥居龍蔵記念博物館</td> <td>3,583</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">計 (33,299)</td> </tr> </table> | (1) 博物館 | 6,328 | (2) 近代美術館 | 16,936 | (3) 文書館 | 1,132 | (4) 21世紀館 | 5,320 | (5) 鳥居龍蔵記念博物館 | 3,583 | 計 (33,299) | |
| | (1) 博物館 | 6,328 | | | | | | | | | | | | |
| | (2) 近代美術館 | 16,936 | | | | | | | | | | | | |
| | (3) 文書館 | 1,132 | | | | | | | | | | | | |
| | (4) 21世紀館 | 5,320 | | | | | | | | | | | | |
| (5) 鳥居龍蔵記念博物館 | 3,583 | | | | | | | | | | | | | |
| 計 (33,299) | | | | | | | | | | | | | | |
| OUR文化教育創生事業 | <p>ふるさと徳島の歴史を再発見し、県民の郷土を愛する心を育むため、史跡・埋蔵文化財などを素材とした県民向け講座などの活用事業や、有形文化財(木簡等)の国指定に向けた調査を行った。また、学校における文化活動の活性化を図るため、中学生の美術、書道等の作品展を開催し、成果発表の機会を設けた。</p> <p style="text-align: right;">(3,435)</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 文化財保存修理事業 | <p>文化財保護に資するため、市町村及び指定文化財所有者等が行う文化財保存事業に対して補助を行った。</p> <p>【主な事業】</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 国選定「三好市東祖谷山村落合」重要伝統的建造物群保存地区保存対策事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 国指定「徳島藩主蜂須賀家墓所」保存整備事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 国指定「阿波国分尼寺跡」保存整備事業</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(10,078)</p> | (1) 国選定「三好市東祖谷山村落合」重要伝統的建造物群保存地区保存対策事業 | | (2) 国指定「徳島藩主蜂須賀家墓所」保存整備事業 | | (3) 国指定「阿波国分尼寺跡」保存整備事業 | | | | | | | | |
| (1) 国選定「三好市東祖谷山村落合」重要伝統的建造物群保存地区保存対策事業 | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 国指定「徳島藩主蜂須賀家墓所」保存整備事業 | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 国指定「阿波国分尼寺跡」保存整備事業 | | | | | | | | | | | | | | |
| 守護町勝瑞遺跡支援事業 | <p>本県を代表する歴史文化遺産である「勝瑞城館跡」を県内外に発信し、地域振興につなげるため、藍住町が進める史跡公園整備事業を支援した。</p> <p style="text-align: right;">(4,730)</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 県指定「丈六寺書院」保存修理事業 | <p>県民にとって重要な文化財である県有形文化財(建造物)「丈六寺書院」は、経年劣化により倒壊の危険があるため、所有者の実施する保存修理事業を支援した。</p> <p style="text-align: right;">(17,790)</p> | | | | | | | | | | | | | |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-----------------------|--------------------|---|
| 4 夢と希望に向かって学び続ける教育の実現 | 埋蔵文化財発掘調査・出土品整理事業 | <p>文化財保護に資するため、四国横断自動車道関連事業等に伴う埋蔵文化財発掘調査等を実施した。</p> <p>(1) 発掘調査費 292,784</p> <p>(2) 出土品整理費 79,285</p> <p style="text-align: right;">計 (372,069)</p> |
| 5 安全・安心で魅力あふれる教育の実現 | 高校施設耐震診断・改修事業 | <p>生徒の安全・安心を確保するため、耐震改修工事を計画的に実施し、高校施設の耐震化を着実に推進した。</p> <p style="text-align: right;">(2,360,757)</p> |
| | 盲学校・聾学校整備事業 | <p>特別支援教育の充実に向けた学校づくりを進めるため、旧盲学校敷地に、盲学校・聾学校を併置したかたちで、校舎・寄宿舎を順次改築した。</p> <p style="text-align: right;">(2,138,336)</p> |
| | 県立学校避難所施設強化・充実事業 | <p>東日本大震災の教訓により、県立学校において避難所としての機能を確保するため、地震自動オープン錠やLED太陽光照明灯の設置等を行った。</p> <p style="text-align: right;">(136,972)</p> |
| | 県立高校総合寄宿舎耐震化等推進事業 | <p>総合寄宿舎において巨大地震等に備えるため、耐震化を図るとともに、入寮生の住環境改善を実施するための耐震診断及び設計に着手した。</p> <p style="text-align: right;">(72,346)</p> |
| | 学校防災ボランティア推進事業 | <p>地域における防災活動の核となる人材の育成と発生時の学校避難所の運営支援を行うため、高校に続き中学校に「防災クラブ」を立ち上げ、防災ボランティアとしての知識・技能を生徒が身につけるとともに教員OBによる避難所運営支援員制度を創設した。</p> <p style="text-align: right;">(3,215)</p> |
| | 体育・部活動あんしんサポート推進事業 | <p>体育授業や運動部活動における事故を未然に防止するため、事故防止に向けた研修会を行うとともに、中学校体育授業での武道必修化に対し、教員の指導力向上のための講習会や柔道安全対策指導員の配置等を行った。</p> <p style="text-align: right;">(6,086)</p> |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-----------------------------|--------------------|---|
| 5 安全・安心で 魅力あふれる教 育の実現 | 実践的防災教育推進支援事業 | 学校における防災管理の充実を図るため、大学等と連携して、専門的な観点から指導・助言を行うとともに、先進的・実践的な防災教育等を行う学校の取組を支援した。 (1,041) |
| | つるぎ高校施設・設備整備事業 | 貞光工業高校と美馬商業高校を再編統合し、平成26年4月に開校したつるぎ高校において、地域の発展に貢献する地域産業の担い手を育成するため、必要となる施設・設備の整備を行った。 (26,587) |
| | スーパーオンリーワンハイスクール事業 | これまでのオンリーワンハイスクール事業により、地域を活性化させる取組が誕生しており、本事業では、さらに「とくしまリーディングハイスクール」の育成を図るため、全国、そして世界を目指しながら、閉塞感を打開する高校独自の取組や研究を支援した。 (10,000) |
| | 「NIPPON」探究スクール事業 | 我が国と郷土を愛し他国を尊重する態度と心を育成するため、主として明治から昭和における歴史を紐解き、各時代における世界の中の「NIPPON」、日本の中の徳島の政治・経済・外交を探究する学校を育成するとともに、生徒自身が「公共」について考える機会を設けた。 (379) |
| | 教職員研修費 | 教員に必要な資質能力を育成するため、基本研修となる初任者研修、授業力向上研修、教職5年次研修、10年経験者研修、各学校の中核となる教員を養成するリーダーシップ養成研修等を実施した。 (23,086) |
| | 教職員職場復帰支援事業 | 教員の職場復帰後のメンタル不調の再発を防止するため、復帰者の在籍校に臨床心理士等を派遣し、本人及び管理職等との面談を行い、具体的な対応への助言指導を行った。 (116) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-----------------------------|-------------------------|---|
| 5 安全・安心で 魅力あふれる教 育の実現 | 情報化による魅力ある学校づ くり推進事業 | 教職員が生徒一人一人と向き合う時間等を増加させ、魅力ある学校づくり等を推進するため、情報化により教職員の校務負担を軽減し、生徒の出欠管理、成績処理等の基本的な校務を共通システムとして行う「学校支援システム」の試行・併行運用等を実施した。 (8,092) |

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

| 区 分 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 | 予算現額と 収入済額 との比較 |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|-----------|-------------|-----------------------|
| 教 育 総 務 課 | 69,032,000 | 73,243,625 | 73,243,625 | 0 | 0 | 4,211,625 |
| コンプライアンス推進室 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 施 設 整 備 課 | 2,415,221,000 | 2,409,302,041 | 2,409,302,041 | 0 | 0 | △5,918,959 |
| 教 育 戦 略 課 | 35,768,000 | 34,941,016 | 34,941,016 | 0 | 0 | △826,984 |
| 教 職 員 課 | 11,643,514,000 | 11,663,053,769 | 11,663,053,769 | 0 | 0 | 19,539,769 |
| 福 利 厚 生 課 | 46,803,000 | 46,879,790 | 46,879,790 | 0 | 0 | 76,790 |
| 学 校 政 策 課 | 1,963,728,000 | 1,953,288,728 | 1,952,764,478 | 78,400 | 445,850 | △10,963,522 |
| 特 別 支 援 教 育 課 | 73,505,000 | 63,835,361 | 63,835,361 | 0 | 0 | △9,669,639 |
| 人 権 教 育 課 | 59,045,000 | 347,003,080 | 60,353,063 | 590,300 | 286,059,717 | 1,308,063 |
| 体 育 学 校 安 全 課 | 141,784,000 | 103,443,770 | 103,443,770 | 0 | 0 | △38,340,230 |
| 生 涯 学 習 政 策 課 | 19,841,000 | 17,447,465 | 17,447,465 | 0 | 0 | △2,393,535 |
| 教 育 文 化 政 策 課 | 376,805,000 | 376,662,913 | 376,662,913 | 0 | 0 | △142,087 |
| 文 化 の 森 振 興 本 部 | 216,689,000 | 217,673,332 | 217,673,332 | 0 | 0 | 984,332 |
| 計 | 17,061,735,000 | 17,306,774,890 | 17,019,600,623 | 668,700 | 286,505,567 | △42,134,377 |

(2) 歳出決算額

(単位：円)

| 区 分 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | 予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較 |
|-----------------|----------------|----------------|---------------|-------------|---------------------------------|
| 教 育 総 務 課 | 1,509,643,000 | 1,495,976,486 | 0 | 13,666,514 | 13,666,514 |
| コンプライアンス推進室 | 980,000 | 833,340 | 0 | 146,660 | 146,660 |
| 施 設 整 備 課 | 5,396,888,500 | 4,120,854,027 | 1,058,397,250 | 217,637,223 | 1,276,034,473 |
| 教 育 戦 略 課 | 62,646,000 | 37,601,998 | 23,649,800 | 1,394,202 | 25,044,002 |
| 教 職 員 課 | 63,763,449,000 | 63,596,310,426 | 0 | 167,138,574 | 167,138,574 |
| 福 利 厚 生 課 | 7,252,426,000 | 7,097,497,494 | 0 | 154,928,506 | 154,928,506 |
| 学 校 政 策 課 | 343,919,000 | 323,936,507 | 0 | 19,982,493 | 19,982,493 |
| 特 別 支 援 教 育 課 | 138,822,000 | 122,603,805 | 0 | 16,218,195 | 16,218,195 |
| 人 権 教 育 課 | 151,324,000 | 147,278,383 | 0 | 4,045,617 | 4,045,617 |
| 体 育 学 校 安 全 課 | 190,744,000 | 149,256,109 | 0 | 41,487,891 | 41,487,891 |
| 生 涯 学 習 政 策 課 | 127,740,000 | 121,606,062 | 0 | 6,133,938 | 6,133,938 |
| 教 育 文 化 政 策 課 | 463,654,000 | 461,476,643 | 0 | 2,177,357 | 2,177,357 |
| 文 化 の 森 振 興 本 部 | 572,078,135 | 554,765,525 | 8,703,000 | 8,609,610 | 17,312,610 |
| 計 | 79,974,313,635 | 78,229,996,805 | 1,090,750,050 | 653,566,780 | 1,744,316,830 |

2 特別会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

| 区 分 | 会 計 名 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 | 予算現額と 収入済額 との比較 |
|-----------|------------------------|-------------|-------------|-------------|-----------|------------|-----------------------|
| 学 校 政 策 課 | 奨 学 金 貸 付 金 特 別 会 計 | 197,825,000 | 428,191,012 | 331,172,037 | 0 | 97,018,975 | 133,347,037 |
| 計 | | 197,825,000 | 428,191,012 | 331,172,037 | 0 | 97,018,975 | 133,347,037 |

(2) 歳出決算額

(単位：円)

| 区 分 | 会 計 名 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | 予算現額と 支出済額 との比較 |
|-----------|------------------------------|-------------|-------------|--------|---------|-----------------------|
| 施 設 整 備 課 | 県 有 林 県 行 造 林 事 業 特 別 会 計 | 300,000 | 270,700 | 0 | 29,300 | 29,300 |
| 学 校 政 策 課 | 奨 学 金 貸 付 金 特 別 会 計 | 197,825,000 | 197,020,246 | 0 | 804,754 | 804,754 |
| 計 | | 198,125,000 | 197,290,946 | 0 | 834,054 | 834,054 |